

府中校 たまねじトピックス



高校生等向け実習講座を実施しました！

都立職業能力開発センターではものづくりの普及啓発の一環として、「高校生向け実習講座」を実施しています。

府中校では、7月21日に組込みシステム技術科、8月14日に電気設備技術科がものづくりに興味のある高校生を対象に実習講座を行いました。ものづくりの楽しさ、素晴らしさを実感していただくとともに、進路の選択肢として公共職業訓練への理解を深めてもらいました。

組込みシステム技術科

『電子回路作成×プログラミング体験 自分で作って光らせる☆フルカラーイルミネーション☆』

フルカラーLEDを使用した簡単な回路設計を学び、プログラミングによる組込みの体験を行いました。

抵抗値の計算、オームの法則と難解な内容もわかりやすく指導員が解説。複数のLEDをマイコンからコントロール。さらに明るさや色合いを制御するプログラムの作成へと進め、最後は色鮮やかなフルカラーイルミネーションの光を輝かせました。参加した受講生の顔も光輝いていました。



電気設備技術科

『自宅の電気の仕組みを知ろう!!スイッチの配線を試みよう』

電気工事を広く知ってもらうため、電気工事の仕事の一部を体験してもらいました。

太陽光発電パネルを屋外に並べ、発電状況を測定し、電球を点灯させることで発電を体験。電線を加工して、スイッチや照明器具などの器具付を行い、スイッチにより点滅するようにしました。受講生は熱心に講義に耳を傾け、実習では慣れない工具や電線を一生懸命取扱い、点灯試験で無事に点灯すると、ほっと胸をなでおろしていました。



府中市商工まつりに出展しました！

府中市の夏の恒例行事として市民に親しまれている『府中市商工まつり』。今年は8月7日から9日までの3日間にわたり、大國魂神社境内全域を会場として行われました。

今回、その会場にはじめて当校が出展しました。当校はものづくりの喜びを知っていただこうと『アロマ入浴剤づくり』の体験と公共職業訓練への理解を深めてもらうため校のパンフレットの配布を行いました。連日、体験に参加する人は途絶えず、老若男女幅広い世代の方にもものづくりの楽しさ、公共訓練施設を知っていただくことができました。



ファミリーデーを実施しました！

ファミリーデーとは

会社の取組として、従業員の家族の職場訪問を受け入れ、日々従業員を支えてくれる家族に職場に対する理解を深めてもらうとともに、同僚との交流を図り、それぞれの従業員にも大事な家庭があるということを社内全体で再認識することで、「働きやすい・家族を大切にする職場の雰囲気づくり」を行い、ワークライフバランスの推進を図る取組を行う日を指します。

詳細はこちら <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/tsd/familyday/index.html>

府中校では8月21日（金）午前を実施しました。

職場全体でワークライフ・バランス（仕事と生活の調和）の認識を高めることを目的とし、施設見学、実習体験、記念撮影などを行いました。普段知らない親の姿を見て、子供達も嬉しそうでした。また、子供達の元気いっぱいの楽しそうな様子に、職員も笑顔になりました。

下の写真は、電気・通信工事科で、初めて見る黒電話を使って通話にチャレンジしているところです。初めは「電話のかけ方がわからない！」と悩んでいましたが、教えるとすぐに「電話がかかった！」と喜んでいました。



皆さんは楽しい夏休みを過ごしましたでしょうか？

今回は、先に掲載した「夏休み工作教室」以外の夏休み期間に実施しているイベントの特集を掲載させていただきました。

いろいろな立場の人が、働くことについて考える良い機会になったのではないかと思います。

（庶務係・能力開発係・組込みシステム技術科・電気設備技術科・ビルクリーニング管理科）

